



つながる手と手

第 59 号

令和4年1月発行

シルバーリハビリ指導士感謝状受賞!!



目次

P2 稲敷市シルバーリハビリ体操指導士会感謝状受賞
稲敷市ボランティア団体「県知事表彰」受賞

P3 シトラスリボンを作りました!!

P4 稲敷市おもちゃ病院が茨城新聞に掲載



稲敷市シルバーリハビリ体操指導士会

感謝状受賞!! と交通安全アドバイザー委嘱

稲敷市シルバーリハビリ体操指導士会は、コロナ禍で教室の開催が休止していましたが、昨年11月から再開され、感謝状の授与が行われました。

茨城県から県保健福祉部長賞1名、県立健康プラザ管理者賞4名の指導士が長年の介護予防推進活動への貢献により受賞されました。

指導士の皆さんは日頃から市内の各所において体操教室の運営・指導をされており、今後、高齢者の方々のフレイル予防にも大いに役立つシルバーリハビリ体操を実践していきたいと思いを新たにされていました。

また、高齢者の交通事故が増加している中で、少しでも減少するよう、参加者や指導士にも注意喚起していただくため、新たに稲敷警察署から10名の指導士に交通安全アドバイザーの委嘱状が交付されました。

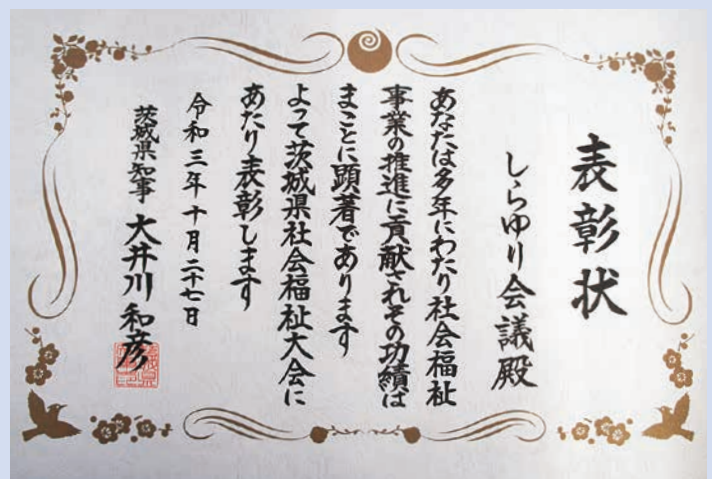


第71回 茨城県社会福祉大会

稲敷市ボランティア団体「県知事表彰」受賞!!

多年にわたり地域福祉の推進に尽力し、その功績が特に顕著であると認められる方に対して、茨城県知事より表彰が行われ、稲敷市からは、1団体が被表彰者として選ばれ表彰されました。誠におめでとうございます。

なお、例年、茨城県社会福祉大会にて表彰式が行われますが、新型コロナウイルス感染症の影響により本年度は中止になりました。



・被表彰者とその功績

【社会福祉援護功労者】 しらゆり会議 様

地域のごみ拾い、古紙回収、給食サービス(社協事業)の調理協力

シトラスリボンを作りました!!

稲敷市更生保護女性の会の7名の方に協力を得まして、シトラスリボンを346個作りました。最初は3つの輪を形良く作るのに少し苦戦しましたが、慣れてくるとスムーズに作ることが出来ました。シトラスリボンは、本庁舎、東支所、江戸崎中央公民館、新利根公民館、桜川公民館、あずま生涯学習センター、稲敷市社会福祉協議会（江戸崎福祉センター内）で無料配布しています。



シトラスリボンプロジェクトとは。。。

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された“その後”に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると、考えます。コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会をめざす活動です。

ただいま、おかえりって
言いあえるまちに
みんなで広げよう、
シトラスリボンプロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

稲敷市おもちゃ病院が茨城新聞に掲載

稲敷市おもちゃ病院の日頃の活躍が茨城新聞の目に留まり、「おもちゃ病院を新聞で紹介したい。」と社協に連絡がありました。

小貫治夫会長が取材に応じ、令和3年12月24日（金）の茨城新聞に掲載されました。

茨城新聞 2021年(令和3年)12月24日 金曜日

思い出の品 再び輝き

稲敷市おもちゃ病院代表
小貫 治夫さん (76)



大きなおもちゃの底面にあるねじを手際よく外している。底ぶたがはがれると、中からコードや基板が現れた。断線した箇所を用意したコードを接いではんだごてで接着。スイッチを押すと、音の出なかったおもちゃから軽快なメロディーが鳴り響いた。おもちゃの修理を行う市民団体「稲敷市おもちゃ病院」の代表を務める。活動は月2



旧浮島村出身。高校卒業後、就職を機に上京。定年を迎えて地元に戻り、8年ほど前、市社会福祉協議会のおもちゃドクター養成講座を受講。研修を終えた仲間たちと同病院を立ち上げた。会員は11人で

回で、市内の商業施設と市社協にブースを設け、持ち込まれた壊れたおもちゃをその場で修理したり、持ち帰って直したりしている。料金は基本無料。部品交換が必要な際は部品代がかかる。依頼主は幼稚園児や小学生児童が多く、「プラレールやラジコンといった電動のおもちゃのほか、手足の折れた人形や縫いぐるみが持ち込まれる」と説明する。思い出の品を直してほしいという大人の依頼もあるという。地域の子どもも減っており、「直ったおもちゃに子どもが喜ぶ姿を見るのが何よりうれしい」とはにかむ。「かなりのものが直せます。家にある思い出のおもちゃをよみがえらせませんか」と呼び掛けた。(木村優斗)

おもちゃ病院 開院中

～子供たちの物を大切に育てる心を育む～

稲敷市おもちゃ病院は、毎月第1日曜日 午後1時から午後3時まで（都合により変更になります。）
ショッピングセンターパンプ 1F まちかど情報センター
で開院しています。

「音が鳴らない」「電池を換えたのに動かない」「タイヤが取れてしまった」などおもちゃが壊れたら、是非1度おもちゃ病院へ！！

お問合せ 稲敷市ボランティアセンター ☎ 029-892-5711

